

金沢大学附属図書館 資料選定基準

平成 28 年 7 月 15 日
附属図書館長裁定

1. 「金沢大学附属図書館資料整備に関する基本方針」第 2 項に基づき、選定する資料区分及び選定の基準を表 1 のとおり定める。
2. 選定資料には、冊子資料以外の媒体も含むものとする。ただし、電子書籍については、全学からアクセス可能な、買い取り型のものを収集対象とする。
3. 冊子資料及び視聴覚資料については、原則として、附属図書館を構成する 3 館で表 2 のとおり分担収集する。

表 1 選定する資料区分及び選定基準

資料区分		選定基準
(1)学 習用 資料	①授業に使用する資料	本学開講授業に密接に関連した資料 ● シラバスに掲載されている教科書及び参考書 ● 教員が授業中に紹介した資料
	②教養を涵養する資料	一般的教養及び社会問題等に関する資料 ● 評価の定まっている古典及びその関連資料 ● 各学問分野の最先端に触れる、知的好奇心を喚起するような資料 ● 定評のある文学賞受賞作品（芥川賞，直木賞，泉鏡花文学賞）
	③各学問分野に関する資料	学生の学修のために各分野で基本的に備えておくべき資料 ● 基本文献及び概説書 ● 分野を網羅的に鳥瞰する全集，叢書，講座，大系 ● 各分野の研究動向，研究入門，資料ガイド
	④留学生用資料	留学生の学修に役立つ資料 ● 日本語学習のための資料 ● 日本の社会や文化を種々の言語で紹介する資料 ● 留学生の出身国の社会や文化を紹介する資料
	⑤留学支援資料	海外への留学に役立つ資料 ● 留学の準備，手続き，ノウハウ等に関する資料 ● 留学先の選定に役立つ資料
	⑥就職支援資料	就職活動及び資格取得に役立つ資料 ● 一般的な就職活動に関する資料 ● 本学で取得できる資格に関する資料
	⑦語学学習に関する資料	外国語の習得に役立つ資料 ● 英語等の多読リーダー ● 語学検定に関する資料
	⑧学修支援資料	アカデミックスキルを高めるために役立つ資料 ● 学修方法，レポート・論文作成に関する資料 ● パソコン及び文書作成，表計算等に関するソフトウェアの利用方法に関する実用書

(2)研究用資料	各専門分野の研究及び授業を実施する教員が、必要と判断する資料
(3)逐次刊行物	各分野の調査・研究，教育及び学修活動を支援する逐次刊行物
(4)参考資料	各分野の調査・研究，教育及び学修活動を支援する辞典，事典，便覧、書誌等
(5)金沢大学関係出版物	本学及び本学構成員が刊行した出版物，金沢大学及び前身校に関する資料
(6)特定コレクション	図書館委員会で重点的に整備することが承認されたコレクションに関する資料
(7)郷土関係資料	石川県及び県内各市町村及び近隣の地域で刊行された沿革・歴史・産業・観光・統計等に関する資料
(8)寄附申入れの資料	(1)～(7)の基準に沿っているもので原則として重複所蔵していないもの
(9)その他	蔵書の構成を補完するための資料

表 2 分担収集

配架する館名	収集対象資料（番号は表 1 に対応）
中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● (1)～(4), (8), (9)のうち, GS 科目, 人間社会学域, 教育学研究科, 教職実践研究科, 人間社会環境研究科, 法務研究科に関する資料 ● (6)のうち, ユネスコ・スクール・セクション（環境学コレクション）に配架する資料 ● (5), (7)
自然科学系図書館	<ul style="list-style-type: none"> ● (1)～(4), (8), (9)のうち, 理工学域, 医薬保健学域（薬学類・創薬科学学類）, 自然科学研究科, 医薬保健学総合研究科(創薬科学専攻, 薬学専攻)に関する資料 ● (6)のうち, 環境学コレクションに配架する資料
医学図書館（保健学類図書室を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ● (1)～(4), (8), (9)のうち, 医薬保健学域（医学類・保健学類）, 医薬保健学総合研究科(創薬科学専攻, 薬学専攻を除く)に関する資料

ただし、学際領域分野、教養資料、参考資料等で必要なものは重複して整備しても良いものとする。